

GA327

言語文化演習－アフリカの文化を学ぶ－

粟飯原 文子

配当年次／単位：3～4年／4単位

旧科目名：

旧科目との重複履修：

毎年・隔年：毎年開講 | 開講セメスター：春・秋

人数制限・選抜・抽選：選抜

他学部への公開：×

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

みなさんはアフリカについて何を知っていますか？何を連想するでしょうか？

わたしたちが「知っている」アフリカとは、えてして、広大な大陸のごく一部を、ある特定の見方から切り取ったイメージでしかありません。アフリカとは実に50以上の独立国を含み、地域や民族によって全く異なる言語・文化・慣習が存在する広大で豊かな場所。この演習では、そんな多様性豊かなアフリカの文化表現に触れ、さまざまな時空間を「旅」することで、アフリカについて多角的に学んでいきます。

なお、アフリカを学ぶことで、他の旧植民地地域の歴史や文化にも関心を向けられるかもしれません。受講生個人の研究・発表のテーマは、アフリカに限らず、南アジアやカリブ海などの地域を対象とすることも可能です。

【到達目標】

- ・アフリカのさまざまな文化表現を通して、アフリカの多様性を理解し、かつアフリカの歴史・社会・政治に幅広く触れる。
- ・アフリカ（および旧植民地地域）について学び、考えることで、「世界史」への新しい視座を得る。
- ・批評・議論の力を発展させ、自主的な調査・研究の方法を身につける。

【授業の進め方と方法】

- ・アフリカの文化表現とそれに関する議論や批評に触れる。そこから、文化表現が指し示す文脈、ないしは文化表現が生まれる文脈についても理解を深められるようにする。
- ・担当者が問題提起を含む発表を行い、全体で討論を行う。または、全員が課題文献を読み問題意識や論点を共有したうえで、グループ・ディスカッションを行う。
- ・春学期の課題として、授業内で扱ったテーマか自分の関心にもとづいて一冊本を選び、レポートを作成する。
- また秋学期の後半には全員に研究発表を行ってもらう。春学期同様、授業内で扱ったテーマから選んでもよいが、個人の関心や問題意識にもとづいて自由にテーマを設定することもできる。

【授業計画】

春学期

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	春学期の演習の進め方について説明。自己紹介、関心のあるテーマを共有。
第2回	レポートと論文の書き方	発表やレジュメ作成の方法を学ぶ。レポートや論文の書き方について、疑問や不明な点を解消できるように基本事項を復習する。
第3回	アフリカの歴史を学ぶ	わたしたちはどのようにアフリカにアプローチすべきか。まずは大陸の歴史を概観する。
第4回	映画から学ぶアフリカの現代史①	映画をより深く理解するため歴史的・政治的背景を学ぶ。
第5回	映画から学ぶアフリカの現代史②	映画を鑑賞してグループ・ディスカッションを行う。
第6回	ネルソン・マンデラと南アフリカ①	ネルソン・マンデラとは何者だったのか？マンデラについて学ぶことから、南アフリカの現代史を概観する。まず二週かけて、マンデラと南アフリカについてのエッセイや論文を読む。担当者が発表、全体で討論を行う。

第7回	ネルソン・マンデラと南アフリカ②	引き続き、マンデラと南アフリカについてのエッセイや論文を読む。担当者が発表、全体で討論を行う。
第8回	ネルソン・マンデラと南アフリカ③	マンデラに関する映画を見てグループ・ディスカッションを行う。
第9回	ドキュメンタリー映画で見る南アフリカ	南アフリカに関するドキュメンタリー映画を見て、グループ・ディスカッションをおこなう。
第10回	アフリカ音楽と政治①	アフリカの代表的なミュージシャンを通して、音楽の社会的・政治的役割とは何かを考える。資料や文献を提示するので、二週にわたりそれをもとにして討論を行う。
第11回	アフリカ音楽と政治②	アフリカ音楽についての文献を読んだうえで、担当者が発表、全体で議論する。
第12回	イメージとしてのアフリカ①	アフリカ人作家のエッセイを通して、作られたアフリカの「イメージ」について考える。
第13回	イメージとしてのアフリカ②	アフリカに関する偏見やステレオタイプはどのようにつくられてきたのか。複数の文献から、歴史的に検証する。
第14回	アフリカ文学と言語	アフリカ人作家のエッセイを通して、アフリカ文学を読解する手がかりをつかむ。主に植民地支配と言語について考える。
第15回	春学期のまとめ	レポートの提出。春学期で学んだことの復習、まとめ。

秋学期

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	秋学期の演習の進め方について説明。後半に行く研究発表に関して意見を交換する。
第2回	アフリカ文学を読む①	アフリカ文学作品を精読。批評・分析の対象となる箇所を共有したうえで、グループ・ディスカッションを行う。
第3回	アフリカ文学を読む②	アフリカ文学作品を精読。批評・分析の対象となる箇所を共有したうえで、グループ・ディスカッションを行う。
第4回	アフリカ文学を読む③	アフリカ文学作品を精読。批評・分析の対象となる箇所を共有したうえで、グループ・ディスカッションを行う。
第5回	アルジェリア解放戦争①	アルジェリアの歴史を概観し、さまざまな文献にふれて解放戦争についての理解を深める。
第6回	アルジェリア解放戦争②	映画『アルジェの戦い』を鑑賞したうえで、作品についてグループ・ディスカッションを行う。
第7回	パンアフリカニズムという夢①	パンアフリカニズムの歴史、思想について、複数の文献を参照しながら理解を深める。
第8回	パンアフリカニズムという夢②	パンアフリカニズムについて、アフリカ大陸の経験と絡めて学ぶ。
第9回	アフリカとファッション	写真集やエッセイ、ニュース記事などを参考にしながら、アフリカの装いの文化について学ぶ。
第10回	研究発表①	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第11回	研究発表②	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第12回	研究発表③	個人の研究発表。全体で討論を行う。
第13回	研究発表④	個人の研究発表。全体で討論を行う。

管理 ID: 1705241
授業コード: C1117

- 第 14 回 研究発表⑤ 個人の研究発表。全体で討論を行う。
- 第 15 回 秋学期のまとめ レポートの提出。秋学期で学んだことの復習、まとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・次週のための準備・予習は必ず行うこと。
- ・文献を読む場合、指名された担当者はレジュメを作成して発表する。また、発表担当の有無によらず、受講者全員が文献を共有し、問題意識をもって授業に臨んでほしい。
- ・春学期・秋学期ともにレポートを課題として出すので、そのための調査を独自に行うこと。

【テキスト（教科書）】

授業時にコピーを配布する。

【参考書】

授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（授業への貢献度、授業時間内の課題の提出） 10 %
- ・授業での発表（調査やレジュメの完成度） 30 %
- ・学期末のレポート 60%

【学生の意見等からの気づき】

学生の自主的な学習、授業への積極的な参加をうながせるよう工夫をおこないたい。

【その他の重要事項】

- ・全員が何らかの形で授業に貢献すること。
- ・授業で提示された文献をしっかりと読むのは言うまでもなく、自分で文献を探して積極的に読んでいき、研究テーマをできるだけ早く見つけられるようにする。
- ・英語（仏語）の読解能力を身につけてもらいたいので、個人の調査・研究にもなるべく英語（仏語）文献や資料を用いること。